
プレスリリース

ロンドン、2023年3月8日午前0時1分

旺盛な需要の伸びが制約された供給を上回り、2023年のプラチナは17トン不足と予想

- 2023年のプラチナについては、需要は24%増加するが、供給の制約が厳しく、増加は3%に留まるため、不足が予想される
- 2023年の自動車需要は、パラジウム代替と一台あたりの使用量の増加により、10%増加する見通し
- 2023年の産業需要は、前年比12%増加する見通し、過去最高の年とほぼ同水準
- 2023年の投資需要は、地金およびコインに対する需要が旺盛で、上場投資信託（ETF）および取引所在庫からの流出が減少しているため、28トン超増加する見通し

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）®は本日、2022年第4四半期のPlatinum Quarterlyと、2022年通年の総括を発表し、2023年予想を修正します。

2年間の大幅余剰の後、プラチナ市場は2023年にかなりの不足に転じると予想されています。2022年の24トンの余剰から、2023年予想の17トン不足までの変動は40トンを超えます。これは、総供給が依然として2022年の低水準に近く、3%（6トン）増の231トンにとどまった一方、需要は24%（48トン）増加して、248トンになったことを反映しています。

2022年の供給は12%減少、低調が続く見通し

鉱山生産とリサイクルがいずれも逆風にさらされ、大きく抑制されたため、2022年第4四半期（前年比18%減の54トン）と2022年通期（同12%減の225トン）はいずれも、総供給が減少しました。

2022年の鉱山総供給量は前年比11%（20トン）減少し、2023年は概ね横ばい（+1トン）を維持すると予想されています。2022年は、鉱山精錬生産も前年比11%（22トン）減少しました。このほぼすべてが南アフリカの生産量の減少によるものです。2022年第4四半期の南アフリカの生産は、精錬所の保守整備、操業の困難、よく報道されている電気供給問題の影響を受けたため、前年比24%（9トン）減少しました。一方で、2022年第4四半期のロシアにおける生産は、物流の問題がロシアとフィンランドの加工施設間の原材料の流れに影響を与えたため、前年比10%（1トン）減少しました。

2022年の世界のリサイクルは、廃車の在庫や宝飾品のリサイクルが減少したため、前年比17%（11トン）減少しました。新車の在庫が低水準で、車両の利用年数が長期化しているため、自動車触媒のリサイクルは減少しました。さらに、インフレによる生活費に対する懸念やリモートワークの普及による走行距離の減少を背景にした消費者行動の変化によって、この状況は悪化しました。宝飾品リサイクルは、中国における宝飾品の販売の減速が売込に影響したため、減少しました。世界のリサイクルは、2023年には使用済み自動車触媒が増加するため、10%回復し、58トンになると予想されています。自動車触媒のリサイクルは12%増加して、43トンに回復すると予想されています。

自動車需要の伸び傾向は 2023 年も続く見通し

昨年は半導体不足の長期化、インフレによる生活費の懸念、ロシアとウクライナの戦争の影響、中国における大規模なロックダウン（都市封鎖）にもかかわらず、世界の自動車市場は概ね回復軌道が続き、底堅さを示しました。2022 年通期の自動車需要は前年比 12%（10 トン）増加し、92 トンに達しました。

自動車生産は未だにコロナ禍前の水準を回復していませんが、さまざまな要因により、自動車に関するプラチナ需要は伸びています。まず、2022 年は、ハイブリッド車の生産が 28%増加しました。ハイブリッド車は通常、ガソリン車よりも後工程でプラチナが多く使用されます。第 2 に、特に中国における二酸化炭素排出規制の厳格化も、特にディーゼル大型車両のプラチナ使用量の増加につながりました。最後に、プラチナによるパラジウム代替が大幅に増加しており、2023 年の代替予想は 3 トン近く上方修正され、17 トンになっています。

こうしたトレンドが続けば、世界の自動車向け需要は 2023 年に 10%（9 トン）増加して、101 トンになると予想されています。

2023 年の工業需要は、過去最高並みとなる見通し

プラチナの工業需要は、2023 年にとりわけ好調な分野になり、前年比 12%（8 トン）増の 78 トンと、過去最高だった 2021 年をわずかに 1 トン下回る水準になると予想されています。

この好調な需要は、日本における LCD 生産工場の新規建設と、中国の新型コロナ規制が解除されることにより、中国のプロジェクト・パイプラインがもたらす増によるものです。ガラス業界では、プラチナ需要は 55%増加して 23 トンとなり、化学（-2%）、石油（-4%）、電子製品（-6%）の各セクターの若干の減少を相殺しています。

宝飾品需要は、中国の規制緩和により、増加する見通し

最大のプラチナ宝飾品市場である中国が 2022 年の大半にロックダウンを実施していたことから、2022 年通期の宝飾品需要は 3%（2 トン）減少し、59 トンとなりました。

規制が緩和されると、消費者の信頼感も回復するため、2023 年の中国における需要は 15%（+2 トン）増加する見込みです。また、日本とインドでも成長が予想されています。一方で、欧州および北米では、婚礼の減少と景気後退への不安から、減少が予想されています。総合すると、2023 年の世界の宝飾品需要は 2%（1 トン）改善し、60 トンに改善すると予想されています。

2023 年の投資需要は回復が予想され、28 トン超改善する見込み

投資需要は、2023 年に大きく改善すると予想されています。プラチナの地金およびコインに対する需要は、2023 年に 100%増加し、14 トンになると予想されています。これは、3 年ぶり高水準で、北米および欧州における製品在庫の改善と、日本が売り越しから買い越しに転じたことを反映しています。一方、ETF（4 トン）と、取引所在庫（1 トン）からの流出は引き続き減少すると予想されます。南アフリカでは、鉱山株よりもプラチナ ETF が選好され、関心が再び高まるでしょう。その結果、2023 年の純投資需要は正味 9 トンとなる見込みです。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル CEO、Trevor Raymond は、以下のよう
に述べました。「マクロの観点からみると、不確実な経済環境、インフレの逆風、世界的な
エネルギー危機などにより、2023 年は困難な年になると予想されます。しかし、そうした流
れに逆らって、2 年連続の大規模な余剰になっていたプラチナ市場は、不足になると予想さ
れています。今年の不足予想はおそらく一時的なものではなく、供給の制約と、水素経済の
ニーズを背景にした将来の需要の成長が続き、こうした不足は数年継続すると予想されま
す。

「電力供給リスクや操業の課題は 2023 年の鉱山供給予想に織り込まれていますが、南アフ
リカの大手生産者における電力供給不足の悪化や、制裁に関連したロシアの操業の課題によ
って、供給には下振れリスクが生じています。対照的に、需要予想には、インフレの悪影響
や世界の経済成長の減速を織り込んでいますが、下振れリスクは十分に考慮されています。
現在、旺盛な需要成長は、主に、自動車アプリケーションにおけるプラチナのパラジウム代
替、既に確実になっているガラス生産設備の増加、好調な地金およびコイン需要によるもの
で、ETF および取引所在庫からの大規模な流出は概ねおさまってきています。

「2021 年以降、大量のプラチナが中国に輸入されました。これは特定された需要をはるかに
超えるもので、この大半は、公表データに含まれていません。これが実需を反映するのか
(本日のレポートで指摘している 2023 年のガラス生産の増加のように)、または中国で在
庫として保有されているかはともかく、国内の輸出規制があるため、欧米市場に再参入して
2023 年の不足に対応することはないかもしれません。そのため、市場はさらに逼迫するでし
ょう。」

「本日のレポート以外に、プラチナと水素経済の密接なつながりを引き続き指摘させていた
だきます。水素関連のプラチナ需要は比較的小規模ですが、中期的には大きく飛躍すると予
想されています。水素需要が大きくなるにつれ、水素関連への投資を検討する投資家にとっ
て、プラチナがその代替となる可能性があります。コモディティに新しい需要分野が発生す
るのは比較的稀で、現時点ではプラチナだけに見られ、特に不足市場では、プラチナへの投
資理由がますます強化されます。」

プラチナ需給バランス (トン)	2019	2020	2021	2022年/2021年		2023年予想/2022年			2021年			
				2022年	2023年	成長率 (%)	成長率 (%)	第4四半期	第3四半期	第4四半期		
供給												
製錬高	189	155	196	174	173	-11%	0%	53	44	43		
南アフリカ	136	103	146	124	122	-15%	-1%	40	31	30		
ジンバブエ	14	14	15	15	16	-1%	5%	4	4	4		
北米	11	10	8	8	9	-5%	16%	2	2	2		
ロシア	22	22	20	21	20	2%	-3%	6	6	5		
その他	5	6	6	6	6	-3%	2%	2	2	2		
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+0	-3	-3	-1	+0	N/A	N/A	-1	-1	-0		
鉱山からの総供給量	189	153	193	172	173	-11%	1%	52	42	42		
リサイクル	66	61	63	52	58	-17%	10%	15	13	12		
自動車触媒	49	46	48	39	43	-20%	12%	11	9	9		
宝飾品	15	13	13	12	12	-12%	6%	3	3	3		
工業	2	2	2	2	2	3%	2%	1	1	1		
総供給量	255	214	256	225	231	-12%	3%	66	55	54		
需要												
自動車	89	75	82	92	101	12%	10%	21	23	24		
自動車触媒	89	75	82	92	101	12%	10%	21	23	24		
ノンロード	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
宝飾品	65	57	61	59	60	-3%	2%	16	15	14		
工業	67	65	79	70	78	-11%	12%	20	18	15		
化学	21	22	21	20	19	-8%	-2%	6	5	5		
石油	7	3	5	6	6	10%	-4%	2	1	2		
電気	4	4	4	3	3	-21%	-6%	1	1	1		
ガラス	7	13	23	15	23	-35%	55%	4	4	1		
医療	9	8	8	9	9	2%	3%	2	2	2		
その他	18	16	17	18	18	5%	3%	5	4	4		
投資	38	48	(2)	(20)	9	N/A	N/A	(3)	(9)	(2)		
地金、コインの増減	8	18	10	7	14	-31%	100%	3	3	0		
ETF保有高の増減	31	16	(7)	(17)	(4)	N/A	N/A	(5)	(7)	(2)		
取引所在庫の増減	(1)	14	(4)	(10)	(1)	N/A	N/A	(1)	(4)	0		
総需要	260	245	220	201	248	-9%	24%	53	47	51		
残余量	-4	-31	36	24	-17	-33%	N/A	13	8	3		
地上在庫	109**	78	114	139	121	21%	-12%					

出典: Metals Focus 2019 - 2023

注記:

- ** 2018年12月31日現在の地上在庫114トン (Metals Focus)
- ↑ ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-ENDS-

編集者への注記:

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。プラチナ金属市場の権威ある独立機関である WPIC への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル、WPIC®) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC®) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量 (精製済みオンス) の 73%~77%は、主に鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 31%から 46%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 30%となっています (過去 5 年間の平均)。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 27%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の -10%から 20%を占めています (投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く)。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。